

学校だより

ONE TEAM (ワン・チーム)



郡山市立行健第二小学校

令和1年11月20日(水)号

発行 校長 宗像 達郎

◇ 研究授業が行われました。◇

19日(火)、2校時に2年生のクラスで算数のかけ算の単元で研究授業が行われました。今後とも、さらに授業の改善を図りながら、こどもたち一人一人の学力向上に努めてまいります。



また、20日(水)には5年生の学級で道徳の授業が行われました。今後も、道徳の授業の実践を通して、さらに授業の充実を図りながら、子どもたち一人一人が自己の生き方についての考えを深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てていきます。



◇ 交流給食が実施されました ◇

20日(水)に2年生と6年生の交流給食が実施されました。2年生4クラスと6年生3クラスの計7クラスにそれぞれ分かれて実施しました。ほかの学級の先生や友達と話しながらの給食になりました。

いつもと違う雰囲気の中でしたが、隣の下級生や上級生と話したり、給食を食べたりする時間になりました。自由な雰囲気の中で楽しく食事をしたことが、新たな仲間作りにつながるいいなと思います。異学年で交流できるのが「二小っ子」の素晴らしさです！



◇ まとめの時期となってきます。◇

2学期も残すところ、1ヶ月となり、まとめの時期となってきました。今までの学習を振り返って反省点があれば改善しながら、勉強に取り組みしましょう。

さて、かつて中学校1年生の国語の教科書に載っていた「脳の働きを目で見てみよう(脳科学者:川島隆太)」に「音読の効用」について以下のように書かれています。ぜひ、参考にしてみてください。

声を出して読んでいるときの脳の状態は、脳の70%以上もの神経細胞が活発に働いていると考えられます。これまで数百の実験をして脳の働きをみてきましたが、この「音読」のときほど脳が活性化しているのをみたことがありません。

～中略～

「音読」は、目で見た文字を口から出し、さらに出した音声を自分の耳で聞くということです。文字言語のシステムと音声言語のシステムの両方を同時に使うことになります。「音読」が、脳をこれほどまでに活性化するのは、このためだと考えられています。

実際に暗記や符号あわせのテストをしてもらったところ、「音読」をしたときの方が好成績を出したとのこと。文章や問題文を読むときや暗記するとき、「音読」で勉強に取り組んではどうでしょうか。



◇ 今日の言葉 ◇

「言葉は、あなたの背中を押してくれる『見えない手』です。」

※子どもたちに「そんな言葉」をかけられる大人でありたいです。



◇ インフルエンザを予防するために！ ◇

11月も後半を迎え、寒さが厳しくなってきます。インフルエンザの流行が心配される時期となってきました。まずは「予防」です。下記の「インフルエンザ予防のポイント」を参考にこの冬も元気に乗り切りましょう。



- ☐ 流行する前に予防接種を！
- ☐ こまめな「手洗い」と「うがい」！
- ☐ バランスの良い食事と十分な休養！
- ☐ あたたかい服装を！